

## この本を書くにあたって～未来これから～

長い長い間、時空に閉じ込められていた私たちの意識。

そと～胸の中心に手をふれた。聞こえた！「めざめるよ～」

どのくらい私たちは眠っていたのだろうか？ 私たちは他者が見ている世界に入り込んでしまった。

これが今の3次元物質世界であり、私たちの霊性が迷子になっているようだ。自分の見ている世界を忘れてしまった。その限界が2020年まさに訪れようとしている。

私たちは今、終わりの入り口に立っている。

さあ、星たちはどう言っているのだろうか。星たちの奏でる未来の響きを、私たちの意識の上昇として感じることができるだろうか。星が語る言葉を聞いてみないかい？

アセンションとは一言でいうと「意識の目覚めのことであり、意識上昇・次元上昇のこと。地球も私たちも、高い振動数の時代になる」ということだ。

❖アストロロジーという占星術的にいうと「❖春分点が水瓶座時代に入っていく時代」を迎える。私たちの意識は確実にその方向へと進んでいて、まさに❖水瓶座パラダイムシフトを起こすタイミングなのだ！

魚座という水の質の時代から、水瓶座という風の質の時代に入っていき、私たちの霊性という本質に目覚めていく。

❖低我というエゴの世界にこれ以上落ち込んでいけないように～本当のワタシは3次元にはいないと星は教えてくれている。

他者が見ている世界は、鏡の世界。他者が見ている世界に入り込むと、鏡の世界に入り込む。

そうして、厄介なことは、そこからもう1つ次元を下げて意識たちもいるのだ。

バーチャルの世界やドラッグの世界、恨みつらみ、攻撃的に戦争へ向かおうとしている意識たちなど、そのような意識たちはもはや3次元世界にさえも上ってこられないかもしれない。

鏡を割ろうよ！ 鏡開きとはそういうことなのだ～魂のあなた！ 本当のワタシが出たがっている～。

❖アストロロジー：天体の学問のこと。天文学上の理論と観測による天体の運行を出生図にして運命を考察する学問。

❖春分点：太陽の通り道の横道と天の赤道の交点の南から北へ交わる昇交点のこと。

❖低我：低次元の自我のこと。エゴともいう。ネガティブエネルギーに引っ張られ意識レベルが下がっているときにはわかりやすいが、私たちが当たり前と思っていることや、いいと信じて疑わないときや自分を責めているときもエゴの罨は隠れていたりする。

❖水瓶座パラダイムシフト：水瓶座とはアクエリアスといって12星座の風の星座であり、パラダイムシフトとはその時代の認識や価値観などが革命的、劇的に変化すること。

## 2037年！ 人間卒業！

私たちは、地球丸ごと時空を超えていき、人間を卒業する。私たちが考える一方向的な時間はなくなるということ。つまり3次元社会は終わりを迎えるということ。

宇宙文明の仲間入りだ～。

2020年以降徐々に時空を超えていくあなたは、若々しくこの2037年を迎えるかもしれませんよ。

●そしてちょうど2012年冬至から100年ほど経つと、冥王星は❖遠日点を通過する。破壊の星といわれている冥王星が太陽と一番離れるときだ。このときの冥王星の気持ちは、計り知れない安堵感に包まれているかもしれない。私たちも輝く地球を眺めているかもしれない。

「そんなあ～1年先のこともわからないのに100年先のことなんてわかるわけない！」

しかし、2020年を迎えた現在、これから先、数十年かけて私たちはこの3次元的な時間を外していく。そうすると、100年後の未来は、今ここに同時にあるということがわかりはじめるかもしれない。

いずれにしても冥王星お疲れ様！ と言えるかな？

本書は今騒がれているアセンションについて真に私が伝えたいことを、アストロロジーが示す星の位相から語っていく。それを知ること、少しでもみなさんの心の整理ができれば、著者として嬉しい限りであり、あわよくば、超ポジティブな地球を皆さんと一緒に創り出すことも可能かもしれない。

●私の精神的研究は心理学や神秘学からはじまって、ヌーソロジー、神聖幾何学フラワーオブライフ、バシヤール、日月神示など、40年の研究を通して、ようやくこの本の出版まで至った。よって、本書ではこうした私のバックボーンとなる思想が所々に顔を出す。これらは常に私の魂の栄養であり道しるべでもあり、特にヌーソロジーに関係するところでは、その提唱者の半田広宣氏にいろいろアドバイスも頂いた。

●第4章では、星のアセンションポイントとしてヌーソロジーの視点も加えさせていただいた。ヌーソロジーとは、素粒子と人間の意識構造を空間の幾何学として統合する、まだ誰も考えたことのない新しい宇宙論である。現代物理学と人間の意識を結びつけ、私たちには今まで観ることのできなかつた精神や意識の世界には明確な構造があることを、幾何学を通じて教えてくれる。少々難解な理論ではあるが、文字どおり古代ギリシャの哲学者たちがヌース（神の知性、宇宙を創造する知性）と呼んでいたものとして、地球規模のアセンションに向け、意識の方向性を示してくれている重要な理論のように感じられる。

そういったエッセンスを含めて本書で伝えたいことは「天体が語るアセンション」の内容だ。

つまり、私の直感もプラスして太陽系の星々たちの動きから今到来しようとしているアセンションの実質について探してみたい。

ご存じのように、現在、スピリチュアル系（以下スピ系と記す）の世界はアセンションブームで沸いている。

私たちが属している太陽系の天体たち（星や惑星と記すこともある）が今どのような位相・形を作っていて、今後私たちの未来はどのようになっていくのか、そこで私たちが取ることのできる選択、また私たちの霊性の変化など

についてもいろいろと語ってみたいと思う。

つまり、いきなりアセンションといっても現実味がある人とない人がいる。私が思うに、アセンションは一部のスピ系の人たちが語るようなファンタジックなものではない。

それは物質世界で起こるのではなく、私たち個々人の意識の内部で起こるものなのだ。

それは内なる革命のようなものといってもいいだろう。この書ではアセンションの意味をしっかりと腑に落としてほしいと思っている。アセンションとは決してどこか別の星や宇宙に行ってしまうことではなく、私たちが生きる「今・ここ」の現実で起こることであり、私たちはその現実を通して次元を上昇させていくのだ。

さあ、星が語る水瓶座の時代・いざアセンション～。



●この本を書くにあたり、文章中にエゴや魂やハイアーセルフという言葉が出てくる。エゴ、低我などの言葉の定義は難しいが、エゴと呼ぶ定義は低次元の自我のこと。この本ではネガティブな負の自我のことを、エゴあるいは低我と呼ぶことにする。

肉体や物質世界に焦点を合わせている自分を、精神的に成長させないような影の部分が低我・エゴであり、ハイアーセルフは魂の大元であり自我と魂を統合した高次の自分と考える。

また、神秘学研究家からの星の見方なので、古典アストロジャーとは違う角度の見方や、つたない部分も多かろうとは思うけれど、もう時は2020年な

ので自由に書かせていただいた。

占星術の講座ではなく、あくまでもアセンションを星（惑星）から読んでみるということテーマとしたのだ。

●この世に生まれ出た一人ひとりがすべての星と関係して生きている。

私たちの意識は星として現れていて、私たちの集合意識は冥王星に代表される❖太陽系外縁天体も創り出しているかもしれない。

❖太陽系外縁天体とは海王星よりも遠い太陽の周りを公転する天体の総称。

つまり私たちの意識が星々を作り出していると同時に、この地球に生まれて、星々が織り成す波動は、あまねくすべての生きとし生けるものが感じている。アセンションという内容が内容だけに、ネガティブなことも書かなければならず、きつい言い回しもあるかもしれないが、決して特別な天体やサインを責める本ではないことをまずは申し上げておきたい。

ちょっと心を開いて、星が創る未来の道、つまり私たちの意識そのものを覗いてみよう。

アセンションという意識の目覚めを焦る必要もないし、恐れなくてもいいと思う。つまり、素の自分への旅であり、いずれはすべての意識が向かって行くところと理解している。

つまり、タイミングは自分で選んでいるのであって、他の人に合わせたりする必要はまったくない。楽しく幸せなあなたであればいいのだ。

本来文章表現は苦手な、詩なら書けるということで、20年ほど前、私は散文詩の書籍「あやしい地球夢中人・ヴォイス出版」を出した。今回は文章で表現している。つたない文章力ではあるが最後まで読み進んで頂いて、内なる

アナタのドアをたたき、軽〜くアセンションに向かう気持ちになっていただければ嬉しい限りである。

さあ、私たちのアセンションどう生きる！ 未来はいかに！

感謝 By 茶茶

●占星術の図は「ソーラーファイアー Ver.9」を使用。また、占星術や理論的な専門用語が出てくるが、紙面上一つひとつ丁寧に説明できないことをご了承いただきたい。